

若宮の2本のミズメ



原の茶屋から若宮へ行く道の若宮入口の両側に、大きな「ミズメ」の木がある。東側のミズメの目通りは332cm、西側は272cm、高さは共に20mくらい。木肌は灰色で、皮は裂けていて、苔がついている。

周りにある墓地の所有者が、傍らに植えたのであろうか、西側のミズメの根元には天保7年（1836）と記された碑石が立っていた。数えると、樹齢は200年近い。

2本が立ち並ぶ姿は逞しく、集落の入口を守っているように見える。見えた。

◆ミズメ: *Betula grossa* (別名: アズサ、アズサカンバ) カバノキ科カバノキ属。落葉高木。本州岩手県以南から四国、九州高隅山までに分布しています。樹皮を傷つけると、水のような樹液が出ることから、その名がつけられたとされています。樹皮が暗灰色で横長に皮目が並び、サクラ類に似て見えますが、皮はうすく剥がれやすい特徴から、カバノキの仲間と言えるでしょう。材は重く堅いので、建築材にも使われます。枝を折ると、サリチル酸メチル(サロメチール)の匂いがします。

問 富士見町景観推進協議会事務局 建設課 都市計画管理係

☎ 026-92176

姉妹町 西伊豆だより

「こっちに投げて!」～2月3日は「菓子まきの日」～

2月3日は節分でした。西伊豆町でも、炒り大豆を撒いて「鬼は外、福は内」と言いながら邪気を払う風習がありますが、田子地区ではそれとは別に、「菓子まき」を行う風習があります。

今年も夕方になると多くの子どもが大きな袋を提げて町内を巡り歩いていました。

田子地区にある旅館には約100人の子どもが集まり、「こっちに投げて～!」と大きな声を上げながら、両手を高く伸ばして菓子を求めていました。菓子をまかない家でも、菓子入りの袋を用意し、来る子どもたちに手渡していました。

漁業が盛んだったころ、子どもを魚に、菓子をまき餌に見立て、大漁を祈願したとされる田子地区ならではの伝統行事。現在もその風習は伝え続けられており、商売繁盛や無病息災を祈願しています。



▲子どもたちのために用意された菓子はダンボール15箱分!

—消費者見守り情報 No.3—

「地デジ詐欺にご用心!」

デジサポ職員や放送局を名乗る人が訪問して「地デジを見るためにテレビを点検する、アンテナ工事が必ず必要」と地デジの移行を名目に代金を請求するなど、アナログテレビ放送のデジタル化に便乗した詐欺のトラブルが発生しています。

地デジ化で、国や放送局がお金を請求することはありません。

詐欺にあわないために、一人で判断せず、家族、信頼できる近くの電器店、デジサポに相談してください。

デジサポ長野: ☎026-403-2100

相談 住民福祉課 住民係 ☎62-9112
消費生活センター岡谷 ☎23-8260



出典: 国民生活センター

◆町の人口と世帯数

平成23年2月1日現在(前月比)

住民基本台帳人口

男性/7,562人(-19)

女性/7,747人(-7)

合計/15,309人(-26)

世帯/5,687世帯(-14)

◆発行日 平成23年3月1日

◆編集・発行 富士見町役場 総務課

〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10,777

T E L 0266-62-2250(代)

F A X 0266-62-4481

◆ホームページ <http://www.town.fujimi.nagano.jp>

Eメール fujimi@town.fujimi.nagano.jp

◆印刷 (有)富士見印刷